



報 会 あ が た

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所：
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒180-0004 東京都武蔵
野市吉祥寺本町 1-31-11
ポストインネットワーク内
TEL.0422-23-7620
発行人：葉山 英毅

小林全会長の逝去

今年一月四日に小林会長突然の訃報に接し、これから共に同窓会の活性化を推進していく矢先でしたので、誠に残念でなりません。

昨年の末には、今年の同窓会の進め方等の懇談の機会には元気でご参加していただき、病気の気配は全く見られませんでした。六年余の東京同窓会長として会の発展の為積極的に尽力していただきました。

心から御冥福をお祈り申し上げます。

東京同窓会

第四十五回東京同窓会総会・懇親会を高校第三十四回卒業生が実行委員を担当し、六月九日(土)アルカディア市ヶ谷に於い

て開催されます。今年のテーマは「縣陵ツリー〜この大いなる幹に枝を張り巡らせ〜」として、五月に墨田区にオープンします世界一の電波塔、東京スカイツ



縣陵との歩み

東京同窓会 副会長

濱 一昌
はま かずよし

(高8回卒)

昭和三十一年三月に三年間の県ヶ丘高校での勉学を終え、社会人として初めて長野県を離れ一人東京でのスタートを切りました。今年で卒業後五十六年が経過、振り返って見ますに、県ヶ丘高校の風土に鍛えられた結果、今があることを実感します。

私と縣陵

昭和三十一年三月に三年間の県ヶ丘高校での勉学を終え、社会人として初めて長野県を離れ一人東京でのスタートを切り

アルペン会(ゴルフ同好会)の事務局を担当、現在に至りました。縣陵の絆を大切にしたい校風は、創立されてからの長い年月にそれぞれ同窓生によって醸成され現在があると確信しています。私の東京での生活の舞台は、山崎貴監督(高校三十五回卒)制作の「ALWAYS三丁目の夕日」の世界を実体験しながら、昭和を生きてきました。

これからの時代は、昭和のアナログから、平成のデジタルに移行する時機に来たと言われます。これからの同窓会の進む方向も若い世代と一緒に変革しなければなりません。縣陵の校風に培われた絆を大切に、共に同窓会の発展に歩んで行きましょう。(三月上旬記)

リーにあやかっつて、同窓会の飛躍発展を強く意識した企画です。昨年三月十一日に発生した「東日本大震災」と、翌日長野県某村を襲った地震等の大災害に我々が一致協力し復興に立ち向う姿を見せたいと思います。

年に一回の同窓生が一堂に会して絆を深める機会ですので、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。来会をお待ち申し上げます。



第44回東京同窓会 総会・懇親会(アルカディア市ヶ谷)より

ゴルフ会員権のことでしたら何でもお気軽に

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員
株式会社 **ゴルフ・プラザ**

代表取締役 **山本 靖弘** (高13回卒)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-10 遠藤ビル4F
Tel.03-3271-2155 Fax.03-3271-2133



東京同窓会の御盛会を願って

同窓会会長

有賀 正

(高2回卒)

記念すべき第四十五回県ヶ丘高等学校東京同窓会の総会を御祝い申し上げます。昨年の三月十一日の東日本大震災は、関東地方の皆様方も少なからず被害に遭われたこと、心から御見舞い申し上げます。あわせて比較的災害の少ない松本地方も六月三十日に震度五強の地震があり、各地で被害がありました。母校県ヶ丘周辺では何の被害もなくホツとした所でございます。

本年はよい年を迎えたいと思つていた矢先の一月四日、東京同窓会会長の小林様の訃報を受け、かつて平成十六年九月、前山岸会長が中途お亡くなりになつてから十七年度以来誠実に三千人にも及ぶ関東地方の同窓会員をおまとめいただいただけに大変残念でなりません。松本へ何度となく足を運ばれ、本部同窓会館はもとより母校県ヶ丘高校、そして私の家までおこしいた

だき、もの静かな中に真心こめて東京同窓会や本部同窓会等、ていねいに語られていた面影がしのばれ、まぶたが熱くなつて参りました。皆様と共に心から御冥福をお祈り申し上げます。平成二十四年度からは新東京同窓会長のもと関東地区同志の絆を強くし、本部同窓会並びに母校県ヶ丘高校へのご協力をお願い申し上げます。

東京同窓会が「縣陵ツリー」のメインテーマ、「この大いなる幹に枝を張り巡らせ」のサブテーマのもと発展されることを期待致します。

いよいよ来年は、母校創立九十年を迎えます。感動の八十周年から百年に向うステップとして、平成二十五年七月十三日、十四日を中心に「大縣陵祭」と銘打つて、本部同窓会では、それぞれ委員の皆様方が準備をしておりますので、東京同窓会の各位にもご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

東京同窓会の御盛会と益々のご発展を期待し、六月九日第二土曜日には皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

縣陵ツリーに繋がる

第45回実行委員長

岡田 秀春

(高34回卒)



私は、筑中、縣陵、日本大学を卒業後、会社員を経て独立、オペラ歌手中島啓江が所

属する音楽プロダクション(Piユーハーツ)を中心にくつかりの事業を営み、今日に至って

が手元に届き初めて東京同窓会

に出席、それ以来、故小林全会長はじめ諸先輩方に変良くして頂きました。そうした経緯もあって、この度実行委員長を務めさせて頂くことになりました。高校時代に反抗して過ごした私がこのような大役を引き受けることに戸惑いを覚えましたが、「だからこそできること

最高の笑顔でお出迎え

信州・松本美ヶ原温泉
ときを大切に作る小さな宿

ゆたかや旅館

小林 清完 (中15回卒)

〒390-0221 松本市里山辺湯の原272 Tel・Fax 0263-32-4107
http://www.yutakayaryokan.com/
email:info@yutakayaryokan.com

松本県ヶ丘高等学校同窓会
全日本花いっぱい連盟

会長 有賀 正 (高2回卒)

〒390-0825 長野県松本市並柳1-2-10 ☎0263-25-4848



もある」と、責任を持って務めることを決意しました。

今回のテーマは「縣陵ツリー

この大いなる幹に枝を張り巡らせ」と致しました。「東京スカイツリー」完成の年で、皆様の記憶に残ることを考えましたが、何より「縣陵」という大樹のもと、世代を超え

て様々な繋がりを拡げていくイメージを込めて決めさせていただきました。

三十年ぶりに同期が集い、再び縣陵祭を行うように楽しんで、松本の「愛のリレー」実行委員長 西牧秀章氏等とも旧交を温めています。「縣陵卒」というフィルターのみを通して

の、利害関係も義務もない触れ合いや温もり心地良さを感じており、このような機会が与えられたことに本当に感謝しています。

後輩の方々のチームワークで、34期、先輩・窓会を目指して、

頑張ります！多くの皆様のご出席を心からお待ちしております。

そして、実は私が何よりも楽しみにしていることは、十年後の卒後四十年に、同期のみんなで、縣陵にはなかった「修学旅行」に行くことなのです。



私と縣陵同窓生

「母校愛のリレー」実行委員長

西牧 秀章

(高34回卒)

私の縣陵卒業後の30年を振り返ってみると、多くの縣陵の同窓生に囲まれた30年であったとつくづく思う。若い頃は、同期の仲間と楽しく過ごし、そんな彼等が、社会人になってからは多くの先輩方を仕事上のお客様として紹介してくれた。また、仕事関係の付き合いにおいても、縣陵の卒業生という話題から話が弾み輪が広がっていった。

は先輩の味噌屋さんの味噌を使い、漬物も先輩のお店、祝いの酒も先輩作、お使い物も後輩のお店の蜂蜜か同級生のお店の飴。特にこの飴屋さんは「新橋屋飴店」といって、去年NHKの『おひさま』で脚光を浴び、同級生としては誠に鼻が高い。

今では薄くなった髪の毛を25年切り続けてくれている同期、そして我が社の経理をみている同期の会計士、他にもあ

務めさせていただき、更に多くの同期の仲間と再会できたことは本当に喜ばしいことであった。この行事に感謝したい。これからは、そんな彼等を含め、多くの仲間と共に楽しく生きていきたいと思う。



雨上がりの槍ヶ岳と常念岳／撮影丸山英明(高19回卒)

縣陵三一会

昭和31年 高8回卒

会 長 澤田 吉雄

東京事務局 濱 一昌

Tel/Fax 04-2945-6555

株式会社 花岡都市建築設計

代表取締役

花岡 俊 (高7回卒)

(社)日本建築家協会会員

〒160-0002 東京都新宿区坂町13番地6
コンフォール四谷101号室
Tel.03-5362-5533 Fax.03-5362-5534
E-mail t_hanaoka@hanaoka-uae.co.jp

信州／松本あさま温泉



〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
Tel 0263-46-0573 Fax 0263-46-5178

URL : <http://www.asama-tamanoyu.co.jp>
E-mail : front@asama-tamanoyu.co.jp

山崎 正治・広太・礼美
(高5回卒) (高54回卒) (高37回卒)



縣陵近況

松本県ヶ丘高等学校 校長 野村 貫之のむら かんじ

東京同窓会会長 小林全様のご逝去に、ご冥福をお祈り申し上げます。生前本校生徒に寄せる思いをいただき、感謝の念に堪えません。

平素、東京同窓会の皆様には、母校縣陵の生徒のためにご支援をいただいておりますこと、御礼申し上げます。母校の様子をお伝えしながら、ご挨拶させていただきます。

平成二十三年度縣陵において様々な変化がありました。新小体育館の使用が昨年九月に始まりました。一階が柔剣道場で、半分は畳を敷いております。二階が普通

の体育館であります。授業やクラブ活動、今後の縣陵祭に活用いたします。旧小体育館は、地域の皆様に迷惑をおかけしながら、八月に解体されました。安全のためには騒音が出て、授業に少なからぬ支障が出ました。

強歩大会は、熊の出没が噂される中での開催となりました。多くの保護者の方々に、給水箇所で激励していただきました。また、学習環境整備事業では、同窓会の芳川支部、寿支部の皆様にご協力い

ただきました。有難く思います。生徒は、先輩との交流も出来る有意義な時間を過ごしました。クラブ活動の中で特筆すべきは、インターナショナル部の英語デイベート大会での活躍です。初参加の縣陵チームでしたが、中南信地区大会、県大会を上位で勝ち進み、全国大会へと進みました。今後の活躍が期待されます。

この会報が届けられるころには、生徒の新たな活躍もご報告できるかと思えます。今後とも縣陵生へのご声援をよろしくお願いいたします。

企画「大縣陵祭」には様々な同窓生のご意見をいただきました。そこで、90周年記念事業を決定した経過を以下にお伝えすることに決まして、短絡的に決めた祭り

母校90周年の記念事業にご協力を!!

同窓会

事務局次長

宮嶋 洸輔みやじま こうすけ

(高25回卒)



平成15年開催の「母校創立80周年記念音楽祭」は、同窓会、

母校、PTAが一致協力して作り上げた県内でも類を見ない壮大な記念催事で、今もなお語り継

がれています。

そして、来年は平成25年、10年の節目を記念する創立90周年の年です。しかし、昨年の大震災に鑑みて、この度の90周年記念

縣陵三四会

巢山 英毅 (高11回卒)

〒178-0062 東京都練馬区大泉町6-11-6 Tel.03(3925)0244 Fax.0263(82)5711

縣陵 燦々会

佐藤悦雄

(昭和33年 高10回卒)

マンション管理士

(登録番号 第0002031215号) 〒203-0043 東久留米市下里7-3-33 Tel. Fax. 042-475-3241

縣陵三二会

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036 川崎市多摩区南生田6-26-1

Saving Your Property & Life

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興 (高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー(CFP) NPO相続アドバイザー協議会 認定会員 上級アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク 〒162-0814 東京都新宿区新小川町6番4号 入交ビル4階 Tel.03(5225)9928 携帯090-2525-5037 Email:nbw-misawa@vhck.ftbb.net

温泉村の 豆腐製造元 民宿



奥原 輝男 (高15回卒)

東京連絡所 Tel.044-955-7596

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷7914-2 Tel.0269-85-4102(代) Fax.0269-85-2075 ホームページ <http://tabi.joy.ne.jp/toufuya/>

翻訳家

勝野 憲昭

(高12回卒)

国連英検特A級合格

〒362-0053 上尾市戸崎1-101 TEL:090-3801-5228 FAX:048-781-9131 E-mail: nrktn4578@jcom.home.ne.jp

事ではないことにご理解をいただき、「大縣陵祭」をもって多くの縣陵同窓生で90周年をお祝いしていただきたいと思えます。

母校創立90周年の記念事業につきましては、平成19年4月15日の同窓会法人理事会で初めて議事として取り上げられました。その後、幾度の常任理事会等を経て、平成20年9月28日に当時副会長の上條炳先輩を中心に、「第1回母校創立90周年記念事業準備委員会」が

開催されました。この準備委員会は6回を重ね、平成21年6月の総会で決議され、同年10月21日によろやく「第1回母校創立90周年記念事業実行委員会」に至り、総務

委員会、財務委員会、記念事業委員会の三部門の構成で本格的に始動しました。平成22年7月15日には記念事業委員会の機動力である高26回く33回生による大縣陵祭部会が立ち上げられました。その後毎月部会を開催し、よろやく「大

縣陵祭」と命名、平成23年5月に企画書、趣意書および募金案内の送付に至り、平成24年2月には小部会が構成され起動中です。

震災後の被災者の皆様、あるいは幅広い年齢層の同窓生に対しても同窓会としてできるだけの配慮を講じておりますことをお伝えし、より多くの皆様のご協力を改めてお願い申し上げます。

平成24年3月10日



校歌によせて

関西同窓会長

白沢 秀則

(高16回卒)

『若き我等』の「風が十字に荒ぶれ狂う」という歌詞に出会った時は少々びつくりした。「故郷」、「春の小川」など穏やかな歌の作詞で知られる高野辰之さんには、冬季の松本平の寒風がよほど身にしみたものと思われる。

私は現在周りが農地の播磨灘沿岸地域に住んでおり、比較的温暖な気候にすっかり馴染んでしまった今となっては、冬の松本平の寒風は相当なものとなつて納得できる。こちらの暖かさは、例えば、周りの人は

雑草として見向きもしない「なすな」は秋が食べごろであり、正月でも耕運機で田畑を耕す人がいる。

郷里には冠婚葬祭などで時々帰省するが、いつもあわただしいスケジュールのためにこれまで松本市街を散策することはなかった。昨年、

本部同窓会総会に参加した折に何十年ぶりで市内を歩いて、国府町、伊勢町、中町筋などの変貌に驚いた。反面、あがたの森から里山辺方面の家屋のたたずまいや薄川の清流は昔の面影を残しており、

懐かしい思いをした。

校歌はさらに、「西に聳ゆる北アルプスに」、「かの犀川の流れの如く」と松本平を象徴する風景が続く。「体も心も強し」という年代は過ぎたので多くはできないが、帰省の際に登っている北アルプスで

「朝日の輝き」に今年も出たい。最後に、東京同窓会第45回総会のサブテーマ『この大いなる幹に枝を張り巡らせ』には、「おのが力に伸び得る時ぞ」のエールを関西同窓会より送ります。

同窓会に最適の宿

本格ログハウスの貸し別荘コテージ
カナディアンログコテージ TAKITARO

滝澤 真輝 (高60回卒)

安曇野市穂高有明8953
穂高温泉郷内
TEL.0263-81-5901

カナディアンTAKITARO

Pearl-Colored Stone・Diamond

TSUKAHARA JEWELRY

有限会社 塚原ジュエリー
塚原 哲夫 (高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸

〒110-0016 東京都台東区台東3-12-2 大上ビル2F
TEL/FAX:03-3837-9758 携帯:090-3234-6187

霊園・墓碑

天乃家
天乃家石材店株式会社

本社 / 〒187-0041 東京都小平市美園町2-1-1
☎042-341-0115 (代表)

小田原支店 ☎0465-49-1400
横浜支店 ☎045-911-6113

営業部 中村 行孝 (高14回卒・野球部)

長野県栄村、東北地方の復興を祈る

ミナ
縣陵東京三七会

昭和37年 (高14回卒) 有志一同



あの頃のこと

恩師…3年A組担任・国語

石田弘一



県ヶ丘高校には、昭和五十三年から十一年間お世話になった。思い出も多い。

向日葵や信長の首斬りおとす

春樹

葱抜けば身の還るべき

龍太

県へ行って二、三年した頃、弁当を食べながらだったか、『読書新聞』で二句を知った。「俳人協会新人賞」とあった気がする。俳句には全く素人で、国語的な知識しか持ち合わせていなかったが、鮮烈な印象を受けた。角川のケレン。「松葉ぼたん」でも「家康の首」でもいけない。思いの文が、息づかいがストレートに伝わって来た。飯田は誠実に生きる人のように、におい立つ葱の白さまでもが目に浮かぶようだった。現代俳句が、生の表現そのものであることに思い到った。「すごいなあ」「いいですね」。隣りに坐る〇さ

んと話した気がする。忘れられない句となった。〇さんもそろそろ定年だろうか。

年始め、花見、小旅行など折々の飲み会、国語科ではよく歌仙を巻いた。みな素人で、初め全く体をなさなかつたが、M教授の指導を仰ぎ、重ねることに巻の

氣息、運びにも俳諧らしさはかすかに漂い、みな飲み会を楽しみにするようにになった。「雛の宵の巻」

「貴船菊の巻」。自分の技量には噴飯、冷汗ものだが、木曾屋などで雨の夜、又旅先の宿で一夕風狂を気どるのも悪くなかつた。

三十年という年月は速い。いろいろなことがあった。転出の折U先生から贈られ、書棚の片隅に飾る半切には、

花屑やしふねきまでの陽の光

幸を

とある。そのU先生も今は亡い。

光城山の自然

恩師…3年D組担任・数学

太田雅之

『おめえーが太田か!』の大きな声に「オーそれで何だ」。

『俺の植えた水仙をなんで取るんだ!……』。目が三角になって

いる。これはヤバイ、殴りかかってくる雰囲気である。これは、毎日登る光城山の頂上付近のある日の一コマ。

水仙は十年以上前から一部の

人により植えられ始めた様だ。

山を花で綺麗にしようという主旨は理解出来る。しかし、安曇

野市は、東山の自然を守りかつ維持しようという方針を持ち、

登山者からも、山に来てまで水仙はおかしいし、見たくもないと言われている。

私の活動している「楽々安曇野」でも東山の自然を後の世代

の子ども達に残そうと活動を始めていた矢先の事である。

水仙は昨年の一年で二千本以上、その他多数の園芸種を国道

一四七号の花街道に移植した。この作業をしながら、如何に



初冬の光城山にて

光城山を好きな方々が多いかと言う事。また、一部の人だが自分の庭と他人の山とを混同している現状を見せつけられた。

この他、園芸種のみならず外来種が凄い勢いではびこり始めて

いる。それ等を駆除するのに、今は多大な時間と労力が必要としている。ここの様に登山者の多い

山で「自然を守るう・残そう」と云う事は決して簡単に出来る事ではない。

これから、四月になると桜、そして若葉、青葉。光城山の一番

きれいな時期に入る。同時にそれは、ゴミをふくめて一番大変な時でもある。

だが、これらの作業も諸々の理由により四月から出来難くなる。将来この山の自然はどうなっ

てしまうのだろう。



一人の人間と一人の人間が心から向き合う時…。

そこに障害や差別という壁は存在しないと信じています。

ここに来たら心の温度が1℃上がる…。そんなぬくもりを大切にしています。

一般歯科 小児歯科 矯正歯科 訪問診療

- 全館バリアフリー(車イス対応)
- 在宅療養支援歯科診療所
- 生活保護指定病院

1F 一般診療室 8台
2F 個室 3部屋
3F 託児ルーム

医療法人社団 光志会 奥原歯科医院

理事長 奥原利樹 (高34回卒)

〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町1-30-10奥原ビル
Tel. 04-2921-1036 訪問歯科専用Tel. 0120-54-7477
http://www.koushikai17.or.jp



ときめく心



磯野 昭子 (高34回卒)

同窓会で久々に会うと、「変わらないね」「高校の頃と同じだよ」と言い合う私たち。

卒業して30年、変わっていないのですが、友人が変わらず持ち続けている何かを見つけて、そう言うのでしょうか。

卒業する頃の私たち。それぞれに目標や計画がありました。同時に、うまくいかなかったらどうしようという不安も抱えていました。

思い描いた通りになることは、そんなになくて、夢や目標を修正しているうちに、もうこんな大人になっ

てしまったというのが現実かもしれませぬ。でも、「変わつてない」と確かめ合うとき、大人になる前の私たちを、ふと思い出すのが嬉しく、また少し切なくもあるのです。

さて、私はいえ、高校時代には夢にも思わなかった仕事についています。都内のカルチャーセンターで、大人向けの講座を作つて18年。歴史

思想、音楽や演劇、美術、外国語など、お客様の好奇心にこたえる講座を考えるのは、楽しいけれど大変です。こんなに長いこと続けているのは、もっと知りたい、もっとできるよ

うになりたい、という方々を身近に感じる喜びがあるからでしょうか。

いつも人気が高いのは、古典文学、日本や世界の歴史などですが、最近では、「やり直す数学」など、理数系の講座にもお客様が増えて

います。大人になって、また学びたいくなるなんて、あの頃誰が想像できたでしょう。

そう、学ぶことは楽しいのです。そしてときめくのです。そんなことがやつとわかる年頃になって、やつぱり変わつてないねと、ときめく心をつかち合えたらと思います。

覇権の剣

イン 上海

袖山 英明 (高34回卒)



一九八三年一月。留学のため単身渡米する私を空港で見送ってくれた

縣陵の仲間たちが、出発ロビーで手をつなぎ輪になって歌ってくれた覇権の剣は、一生涯の大切な思い出である。周囲をはばかりながら、ささやくような小声の斉唱であったが、仲間たちの心のこもった計らいに感動し目頭が熱くなった記憶はいまでも昨日のように甦る。

時は流れ流れて二〇〇六年。当時

時勤めていたサンフランシスコ近郊のデザイン会社で上海へ出張の機会があった。上海には縣陵同級生の悪友Kが駐在していたのでさっそく連絡。夜の街へと繰り出した。ちなみにKはあのとき空港で見送つてくれた仲間の一人だ。

ほろ酔い加減でたどりに着いたK行きつけのカラオケバー。ひととおり青春時代のヒットソングを歌いまくつた後、「おい、そろそろ帰るか」と、



1983年1月、成田空港にて。

「おうえんかあ〜、はけんの〜」

絶叫。

「ようしや、やるか!」

奥の深いソファから勢いよく立ち上がると、マイク片手にまずKが絶叫。

「おうえんかあ〜、はけんの〜」

「つるぎ。そ〜れ!」

一瞬静まり返る室内。啞然とお目めをパチクリさせるミニスカートの小娘たち。

かくして、理性完全喪失超迷惑日本人おつさん二名による覇権の剣フルコーラス太鼓なしアカペラバージョンが、彼の地、上海は新天地のカラオケバー店内に殷々と響き渡つたのである。

もうすぐ海外生活三十年になるが、後にも先にも日本国外で覇権の剣を歌つたのはこのときだけだ。世界中どこにいようと同級生と応援歌を高唱するのはやつぱり楽しい。でも今度はもう少し、縣陵OBとしての自覚と品位を失わないよう心掛けようと思つた。

~人事・総務と社員を“結ぶ”フロントシステムを作っている会社です~

『創造する楽しい職種だよ!!!』

- ◆卒業生優遇
- ◆職種：業務デザイン、システムエンジニア

代表取締役 降旗 真寿幸 (高22回卒)
 取締役IT本部長 寺島 巧二 (高34回卒)
 監査役 濱 一昌 (高8回卒)



株式会社ビジネスネットコーポレーション
 〒105-0014 東京都港区芝3-2-18 NBF芝公園ビル10F
 TEL:03-5444-3066(代表) FAX:03-5444-3070
 http://www.busnet.co.jp 採用担当:滝沢



第45回 縣陵東京同窓会 総会・懇親会

「テーマ」

縣陵ツリー ～この大いなる幹に枝を張り巡らせ～

〔日時〕 2012年6月9日(土) 〔総会〕 12時30分～ 〔懇親会〕 13時15分～

〔場所〕 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 3階 富士の間

東京近郊に住まれる同窓生であれば、皆、どんどん空へと伸びていく東京スカイツリーの姿を、驚きの目で眺められていたことと思います。

でも、建設中のスカイツリーに託す思いにも、山崎貴監督(35回卒)の映画

『ALWAYS三丁目の夕日』シリーズを観る前と後とは違いがあったのではないのでしょうか。

かように想像力は風景を一変させます。いま生きているこの『世界』も、世代により、送ってきた人生により、

それぞれ異なる様相を呈しているのではないか。それらを持ち寄り交感できたならば、

それはあのスカイツリーをも遥かに超えるスケールの大樹となるのではないか。

そんな思いを込めて、『縣陵ツリー』という言葉とテーマに致しました。

もとよりわれわれ縣陵同窓生は、信州の壮大な自然の中で育ちました。

いかなる建造物をも凌駕する『一体感』を、

多くの方々に実感していただけるような東京同窓会にしたいと考えています。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

第45回東京同窓会総会・懇親会実行委員長 岡田秀春 実行委員一同



あれから30年
まだまだ育つ
縣陵ツリー。
34期会を
今後もよろしく
お願いいたします。



この大いなる幹に枝を張り巡らせ

1982年(高34回)卒

縣陵34期会

<http://34kenryo.blog.fc2.com/>

今年の「縣陵ツリー」を繋ぐ34期実行委員会のメンバーに聞いてみました。

「縣陵時代に経験したことで、いまも役に立っていること、大切にしていることは？」

今年の実行委員会34期は、“シラケ世代”とも“新人類”とも呼ばれた世代。

この世代が縣陵でいかなる芽を吹き、どのような思いでそれを育み、どのように枝を張ってきたのか。

いま一度自分のルーツを振り返りながら綴ってみました。縣陵ツリーという大樹の、“一本の枝”として。

●三年生時の**縣陵祭**。所属の演劇部の活動に加え、生徒会役員として電気工事や音響レンタルの業者と、それら設備を使う他の部等との打合せに苦勞しましたが、いざ始まってみるとそれぞれの持ち場で仲間が一生懸命に頑張る姿に喜びも感じ、後夜祭では「みんなで何かをやるってこういうものなんだなあ〜」と実感。今もその感動を求めて仕事に就いている自分かも知れません。《放送室の主》●「☆子さんはどこが分からないかが分からないんですよ」。1年生時担任の太田先生が、私の数学の成績不振について母にそう語った。今でも母は愉快そうにこの話をする。当時の私は数学の、人生においての必要性を感じていなかったのだろう。**数Ⅲ**の教科書など購入せずに平気で授業を受けていた。卒業後一転して、とことんまでやらないと気が済まない性質になった。さつとあの頃に温存していた“やる気”のお蔭で今があるのだ！《☆子》●中学でやっていた軟式テニスを、迷うことなく縣陵でも続けた。試合で何度か対戦したことのある他中学出身者と同じ部で仲間になる楽しさを体験！縣陵の三年間は部活中心の毎日、暑い夏も寒い冬も休み時間には必ず部室にいた。思い出と言えば**冬の広沢寺**へのランニング！暑さ寒さに強いのは、あの頃養われたものだと思うな。《hiroshi》●高校2年、1980年12月8日（日本時間9日）、**ジョン・レノン**がニューヨークで射殺された。私はあまりのショックで、数日間、誰ともしゃべりたくなかった…。彼とビートルズの音楽、スタイルに魅了され何よりも影響を受けた。それ以降もずっと音楽を愛し続け、そして私は音楽プロダクションの社長になった。今もジョンは、私の心の中に生きている。《hide》●縣陵での毎日を今振り返ると、「まったく何をしていたんだか？」というのが感想です。他人の目を気にして、格好ばかりつけて、頑張っているフリ、一生懸命なフリをしていた。**歳とって益々本気**で頑張るようになった今だから、それが素直に判ります。縣陵時代はそうした“頑張る尺度”として今の自分を支えているのだと言われれば、そうなのかもしれません。《猫背野郎》●中学ではバスケット部だったが、見学で自分との身長差に愕然。みんなでかいたもの。一念発起、白虹会に入部したことが美大進学、グラフィックデザイナーという職への出発点となった。縣陵（白虹会）時代で心に残っていること。**ばんじゅうや**。縣陵祭。大糸線での通学。イラストの企画。石田先生に見つけたこと。アイビー。告白。自宅謹慎。スターウォーズ。物理の0点。そして、常念小屋の夏。《Chifumi.K》●縣陵サッカー部といえば、**サブ**こと故 渡辺三郎監督であった。われわれの3年生時はサブの監督生活最後の年であり、選手権の県大会決勝はなんとしても勝つべきだった。そういった悔恨もあり、いまでは何をやるにしても全力で取り組んでいる。と、言えれば格好いいのだが、実際はのらりくらりと過ごしている。たまにはサブに怒鳴られたいとも思う今日この頃である（やっぱやだな、怒鳴られるのは）。《itoq》●高校3年の縣陵祭。準行委員長として全体を切り盛りする中での部活の吹奏楽定期公演の練習に加え、前夜祭の出し物の**バンド**を2つ掛け持ち。当然のごとく勉強なんてする暇なし。めちゃくちゃ忙しいながらも、楽しみながらなんとか切り抜けた夏。そこで学んだことは「なるようになる」。今もこの経験は活かされています（笑）。《Tetsu》●東陽一監督「ラブレター」（1981年）を悪友A-Iと観賞。その後の授業で1先生がこの映画を得々と解説、最後に「**観たやつはいねえだろうな**」。そう、日活ロマンポルノ（1971-1988）の一作である。現役監督でもこれら作品群の影響下にある人は少なくない、欠かせない映画史の一コマ。それを（いろんな意味で）多感な時期に、劇場で、リアルタイムに体験したことを誇りに思う。《take_chin》●毎日バスケットに明け暮れ、バスケットしかしていなかったと言っても過言ではない。盆も正月も、**縣陵祭の時も練習**。練習時間が迫ってくると、とても憂鬱な気持ちになっていたことを思い出す。それでもなんとか最後まで続けることができた。それがいまの忍耐力、継続する力に繋がっているのだろうか？と思う今日この頃です。《kiyo》●縣陵時代、飽かずに聴いた**オフ・コース**。でも大学生になって彼らから遠ざかった。たぶんバブルの世の中に彼らの歌は馴染まなかったのだろう。私もそんな風潮に流されていた。しばらくしてふとした切っ掛けで聴き直しはじめ、とくに2001年9・11直後はオフ・コースばかりを聴いていた。あの頃の私と同じように、不安でわだかまった気持ちを、小田さんの声で調律していたのだと思う。彼が還暦を超えてなお精神的に活動しているのを見ると、とても励まされる。《ri_kaleidoscope》●浪人が確定して上京。池袋の某大手靴店で初バイト。同郷の先輩の初っ端の一言、「お前、“**ツモイ**”って言うなよ！」えっ、“ボタンカウ”も“マエデ”も方言?! “ズラ”さえ言わなきゃ大丈夫って思ったダニ…。あれから30年、朝ドラ「おひさま」を観ながら、「何コイテルだ！ そんな言い方シッコネエジャン！」と突っ込んでます（心の中で）。《tatsu21》●柔道部に入り最初にやった練習は「**受け身**」。先輩との乱取（立ち稽古）でも投げられまくり、すりキズ、青アザだらけの日々で、受け身の技術だけは有段者クラスでした。時は過ぎ、柔道とも縁のない生活をしていた数年前のこと。交差点で車にはねられ、宙を舞い、頭と肩から地面に落ち、救急車で運ばれる大騒ぎ！にもかかわらず、すりキズ少々で済んだのは、体に染み付いた「受け身」のおかげですかねえ。《kou2》

心からの笑顔は、
豊かな心の現れです。
私達は「心の笑顔」を
大切にしていきたいです。



所属：中島啓江

株式会社 ピュアハーツ

代表取締役 **岡田 秀春**（高34回卒）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-9-7 ニッカビル2F

TEL：03-6304-0188 FAX：03-6304-0189

H P：http://www.purehearts.co.jp

mail：okada@purehearts.co.jp

当社は、オペラ歌手：中島啓江が所属する音楽プロダクションです。グループでは、コンサートなどの公演制作、CD制作、子供モデル、タレントのマネージメント、音楽教室の運営、飲食店の経営、音楽を通じた社会貢献のためのNPO法人スマイル合唱団の支援を行っています。



Kenryoch Ladies

県陵レディースの会長辞任にあたり

県陵レディース代表

久保田 昇子 (高18回卒)

思えば十五年前、卒後30年の者が同窓会を開催するというので集められ、無事行事が終わって、幹事会に報告に行ったのが県陵レディースが生まれるきっかけとなりました。その時、幹事会に女性が参加したのは初めてだと言われ「婦人部を作ってください」と依頼され、「今の時代『婦人部』は無いでしょ」と心の中で思ったのを覚えています。

最初は男性が会長で、私がサブということで始まることになっていたのですが、残念なことにその男性が東京を去られることになり、何となく私が引き受ける格好になりました。

先ず次の年の同窓会で、女性の会を作るにあたりどんな会にして欲しいかアンケートをとったのですが、これという方向性が決まらず、不要論もありました。しかしとにかく県陵の女性達が少しでも同窓会に興味を持ってもらうためにどうしたらいいかを考えました。

目的は同窓会への女性参加を増やすことです。もちろんその

頃は女性の名簿なんかありません。四千人に近い会員の中から、名前や出身大学等を参考にしながら、女性と思われる方々をピックアップして名簿を作りました。ですから男性も交じってしまい、「私は男性です」というお便りを何回かいただき、その方々にお詫びのお手紙をしたこともあります。逆に女性なのに気がつかないで今日に至っている場合もあるかもしれません。そういう方は是非ご二報ください。

次に、今まであまり興味を示さなかった方々に、何をしたらちよっと出席してみようかなと思っていただけか考えました。そして同期の三澤さん、船越さん、若林さんに助けていただき第一回の「東京湾ランチクルーズ」を企画しました。有難いことに本当に大勢の方々に参加していただき盛況に終わりました。

しかし、その頃はまだ会の名前も無く、組織もできていません。それで、ランチクルーズに参加してくださった女性の方々に、「フレンチのランチをしませんか」と

いう誘いをし、そこに集まってくださった方々の中から役員を引き受けていただけの方を募りました。有難いことに6人の方々が役員を引き受けてくださいました。そこで会の名前を決め、「県陵レディース」が誕生しました。なん

だか「族」の名前みたいという声もありましたが、一番解りやすいと思いました。その後少しずつ役員を増やし、また辞められる方もいて、現在13名で運営しています。

この間、女性の幹事会への参加も増え、幹事会に女性がいない方が不自然な位になっていきます。同窓会の参加者にも女性が増えてきて、少しずつ女性の同窓会への意識が変わってきているような気がします。母校では女性の数が半数以上になっています。同窓会運営も男性にお任せではなく、女性達も積極的に活躍していただきたいと思います。

15年間本当に色々な方々にお世話になり、その方々のおかげで、県陵レディースを続けてこれらたと感じております。

長い間私を支えてくださった大勢の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

ありがとうございました。

総合建設業・一級建築士事務所・不動産企画開発



株式会社 **アスピア**

代表取締役 **百瀬 方康** (高22回卒)
 〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30
 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618
 E-mail:info@asupia.co.jp

イタリヤ輸入家具



青柳 善久 (高20回卒)

株式会社 東信商会
<http://www.toshin-shokai.co.jp/>

健康ですか？
 悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-8-17
 (京王井の頭線久我山駅前)
 TEL 03(3332)5725(予約制)
 院長 久保田昇子(高18回卒)



安曇野市 栄山 山頂
 中村茂幸 作品
 東京ミッドタウン
 フロリアンクラール作品
 モニュメント・パブリックアート
 設計・制作・施工

株式会社
ビーファクトリー 代表取締役 **中村茂幸** (高27回)

〒123-0864 東京都足立区鹿浜1-13-19 TEL03-3857-8155
 be-fa@onyx.dti.ne.jp
www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/



学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託
株式会社 ポストインネットワーク
 ホームページ <http://www.postin-net.com/>



発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社：〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
 企画営業部：Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
 物流センター：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-19-6-2F Tel.04-2951-7507 Fax.04-2951-7517

Kenryu Ladies

県陵レディースの会長に就任して

衣袋 めぐみ (高27回卒)

この度は、図らずも諸先輩方をさしおき、県陵レディースの会長を引き受けることになりました。二十七期卒の衣袋めぐみです。若輩者ではありますが、精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。

私が、レディースの役員になったのは、総会当番の年でした。その年の行事は、東京湾『屋形船』での食事会でした。一艘を借り切り、全員が県陵同窓生という大

.....

参加して 県陵レディース「チャリティー昼食会」に

岩崎 美智子 (高31回卒)

「ここ何年も参加したいと思ひながら、中々タイミングが合わず、やっと今回初めてレディースの企画に参加させていただきました。お食事も美味しかったのですが、サンキュー手塚さんのパントタイムが素晴らしい、思いつきり大笑いし、そしてソプラノ歌手の稲葉美和子さんの歌にはとても感動しました。私達31期の塚

田弘子さん(ピアニスト)のお姉さまでもある稲葉さんとは、高校時代に交流のあった同期も数名参加していましたので、久しぶりの再会に昔話に花が咲き、とても盛り上がっていました。
今回の企画は東日本大震災のチャリティーとして寄付を募るのが大きな目的でしたが、久保田会長の被災地でのボランティアの

も、女性の方の活躍が顕著に見られ、これからの県陵レディースの役割の大切さを実感しています。前会長の久保田さんのような素晴らしい活動ができるかは心配ですが、私なりに頑張つてより県陵レディースの活動が盛況になるように努力していきたいと思っています。
そして、女性会員の方が気軽に参加できるように、行事の内容についてもレディース役員の方々と相談の上、今後検討していきたいと思ひます。県陵レディースへ、今後とも皆様のご協力・ご意見等よろしくお願ひ致します。



「こうかな?」新津 毅さん(高18回卒)左、「いや、こうです!」サンキュー手塚さん(高39回卒)右

人間と文化と平和のために—

聖教新聞

広告局次長 **赤須 光雄** (高校31回卒)
E-mail : akasu@seikyo-np.jp

聖教新聞社 〒160-8070 東京都新宿区信濃町18
TEL : 03(3353)6111(大代表)
URL : http://www.seikyonet.jp

[定期刊行物] *グラフSGI *大白蓮華 *創価新報
*高校新報 *中学文化新聞 *小学生文化新聞

www.tellysworks.com
イラストレーションスタジオ・テリーズオフィス

090-9824-5655
art@tellysworks.com

〒154-0004
東京都世田谷区太子堂1-13-11-411
佐原輝夫 / 23回卒

ASKA Research

小松清路建築研究所
SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES
代表 **小松清路** (高23回卒)

〒169-0072 新宿区大久保2-1-3-1201 TEL.03-3209-3127 FAX.03-4220-7028
E-mail:AS.Komatsu.Aoak@orange.zero.jp UPL: http://orange.zero.jp/AS.Komatsu.Aoak/

日本M&Aセンター

“2012年問題”
~団塊世代の経営者引退、事業承継問題が加速~
<相談無料・秘密厳守>

法人事業本部
事業法人部
担当部長 **福井 順** (高31回卒)

株式会社日本M&Aセンター
〒100-0005 千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館19階
TEL.03-5220-4935(直通) 携帯080-3678-2041

自分史でも作りませんか。
お手伝いしますよ。

グラフィックデザイン **荒木デザイン室**
代表 **荒木 仁** (高23回卒)

tel.042-301-1144 fax.042-301-1145
araki@arajin.jp http://arajin.jp

インテリアARAKI

内装工事・設計・施工

代表 **荒木 仁** (高23回卒)

〒157-0061 世田谷区北島山7-2-18
TEL:03-3308-5610
FAX:03-3308-5624
Email:gh-araki@jcom.home.ne.jp



小林全前会長 追悼集

ありがとうございます、 安らかに眠りください。



高校卒業時の交換写真から
池野節子さん提供

小林君(まったくサ)を悼む



吉沢 三雄
(高4回卒)

同窓会会長 小林全君の訃報を知ったのは、一月八日であった。二十六日の幹事会で会うのを楽しみにしていたのに、残念でならない。

想えば、昭和二十七年卒業同クラスG組の友であった。当時は戦後の混乱期で、食料も乏しく、皆貧しく、体力も劣っていたが、なぜか明るく、皆々の目が前途に向かって輝いていたのを想い出す。

彼、小林君は、「ぜんちゃん」あるいは「まったくサ」などと呼ばれていた。物理部・演劇部にも関係し、地味ながらもコツコツと勉強に励んでいた。勉強もせず運動部で飛び跳ねていた私とは大違いであった。

その後、同じ大学で学んだが、その当時は付き合いはなかった。卒業後も会う機会はなかったが、時が経ち、四期卒の同期会で会った折、彼が東京都に勤め活躍しているのを知り、同時に、あの「まったくサ」と同じ人物かと思うほど人間的に大きくなっていったので驚いた。役人として

成長していただろう。

その後、東京同窓会をまとめ、見事な会長ぶりをを見せてくれ、同期の者として誇りに思った。

もう少し頑張つて同窓会を引っ張ってくればと、残念でならない。今はただただ、ご苦労さまと言いたい。ご冥福を祈るのみである。このあとは、新会長が彼の遺志を継ぎ、同窓会を発展させてくれるものと期待している。

お別れの言葉



池野 節子
(高4回卒)

松もとれない五日の夕方に訃報に接し心に大きな激震が走りしました。年賀が届いた許りで「何時も温かい心遣い有難く存じます」と認めてあったのを見直しました。私は「光陰矢の如し、二日を大切にする年となり、お互いに気をつけようね」と認めた矢先の現実を受け入れるのに時間が掛かりました。

思い起せば、昭和二十七年に互いに学び舎を巣立つて、貴方様は東

京の大学を卒業され就職と、幾歳月が流れ、巡り会うこともないと思つて

いた時、山岸先輩の後任に東京同窓会会長に就任され、私も微力ながら松本同窓会に参加させて頂くなか、お会いする機会が生まれ、同窓会、四期会等々でお酒を酌み交わそうとは思ひもありませんでした。会合でお会いする時の会長には鯨張つた生真面目なお顔と、反面人との出会うや絆を大切に下さる暖かみと、懐かしみを持って接して下さる面と、思ひ出すままに認めようと思ひます。

一昨年東京四期会の後、花でまりでの二次会で氣勢をあげF組の男性に優しくお世話頂き、ほろ酔いかげんで新宿駅まで、松本組を送つて下さいました。その後、デパ地下で主人の土産を一緒に見たて下さり、至れり尽くせりにして頂いたこと等。

昨年の夏、松本四期会では、いつになく気持が弾んで、お話もお酒も進んで楽しそうでした。散会の後、ブエナビスタ最上階に移動し、雄大なアルプスや美しい夜景を眺めながら楽しく語らうなかで、母校創立九十周年の話題となり、平成二十五年は四期生も節目の年であり、東京と松本で合同会を開催したらとの発案もあ

り、東京はF組の当番だから、早速話を進めてみるかと三つてたのに、またNHKの連続ドラマ『おひさま』を見て何故か涙が出るんだよね、家内にも笑われるんだけど話されたこと等。今思ふと、あの夜同期生と語つたのが最後となつてしまいました。

故郷安曇野の美しい情景が懐かし、郷愁が涙となつて頬を濡らしたのでしょうか？

幼き頃、田畑の畦道で遊び、多感で希望に胸膨らませ、大糸線で通学した、あの頃の思い出を沢山持つて、美しい青空に聳える常念岳の雄姿や、澄きつた故郷の景色の中を、千の風になつて、吹き渡つていくことでしょうか。

会長の残された母校愛の絆は御霊となつて、永久に後輩達に引き継がれていくことでしょうか。

安らかに眠り下さい。さようなら

関西思いの小林全さん



関西同窓会・前会長
藤田 泰之
(高8回卒)

毎年、関西同窓会総会にご出席いただいた小林全さんがお亡くなりになり、とても寂しいです。会員が多い東京をまとめるのに忙しいのに、いつも関西を見守つて下さいます。大阪で開かれた万国博から続く関西に、同窓会の原点があることを理解された先輩でありました。東京で、松本で一緒したことが、私には

日本柔道整復師会所属

三澤接骨院

院長 三澤 茂明 (高34回卒)

〒390-0805 長野県松本市清水2-5-11

TEL.0263-39-9001

会社法人の設立・登記
行政許可申請

土地建物の測量・登記
相続・成年後見手続

民間紛争解決手続代理関係業務(ADR)認定 土地家屋調査士
住宅ローンアドバイザー 宅地建物取引主任者

杉本政昭 (高33回卒)

鈴木登記測量事務所

〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目4番8-502号

TEL.03-3354-5004 携帯電話080-3388-3759

E-mail m_sugimoto@suzukioffice.co.jp

やはり大切に思われます。

私は中学三年から信州大学を卒業するまで、「北アルプスとともに」の人間でした。今年「縣陵ツリー」がメインテーマとか。母校の白樺、県の森の檜、ヒマラヤ杉が懐かしいです。去年は穂高連峰に囲まれた洞沢でダケカンバ、新潟県境のブナ、甲武信岳に近い峠で石楠花と対面しました。樹木の中に立つと興奮を覚えます。

東日本の災害・事故の翌年に東京スカイツリーが人を集めるわけですが、縣陵ツリーはあくまで自然の中に太い幹と枝を張りめぐらせて下さい。東京同窓会の活動を関西から見守っています。

故小林全会長に捧げる



東京同窓会・副会長
佐藤悦雄
(高10回卒)

松本県ヶ丘高校東京同窓会の会長でありました小林全氏のご逝去にあたり、校旗に半旗を掲げ追悼文を献上いたします。

今年一月七日に東京同窓会の事務局長の三澤政興氏から私のパソコンに、小林会長が四日に急逝されたとの訃報が入りました。私は言葉が出ないくらい驚き、お元気だったのに急逝とは……と信じられませんでした。

九日のお通夜に参列しお別れのご挨拶をいたしました時、会長へ

の思慕の情がつのり涙を抑えられませんでした。

小林会長は温厚、誠実で紳士な方でした。平成十七年に東京同窓会の第五代会長に就任して以来、東京同窓会を愛し、健全な発展に心血を注いでこられました。特に同窓会を通して同窓生間の絆を深めることに力点を置き指導力を発揮してこられました。事務方の安定強化にも力を入れ、若手事務方からも敬意を一身に集めておりました。

そんな小林会長から、もうご指導を仰ぐことが出来ないことは残念です。これからは天国から私達東京同窓会の発展を見守って下さることを願います。私達も同窓会の発展に尽力することを誓い申し上げます。

校歌、「風が十字に荒ぶれ狂う……」を鎮魂歌として歌う三千名強の在京同窓生の歌声と共に、小林全会長のご冥福をお祈りします。
合掌

はあるかぶりだいね



東京同窓会・会計委員長
百瀬興一
(高12回卒)

御無沙汰しましてすみませんでした。主人の四十九日の法要もおかげ様で無事済ませました。皆様から、まていな御供養をして戴き

まして、本当にありがとうございました。

納骨のとき三澤さんが墓の前で『千の風になつて』を唱ってくれたのが、とてもせつなくて……でも嬉しかったんね。

主人はいつも皆様との寄り合いの場で、松本の方言を丸出しにして喋れることを楽しみにしていました。年齢も住む世界もうんと離れていくつうのに、國の言葉のひとつで、その間がすぐ縮んじやうのが何よりだと申しておりました。臆面もなく主人の恥になるような話題を、まえてに置いて皆様の共感を集めていたようです。そうした皆様のおつき合いの様子を話してくれたのも主人の想い出のひとつです。

これからは、心の拠り所として過去を想い出しながら、明日からの未来を見つめて生きてゆきます。そして今年もまた春がやってくるのだと……。どうか春の風が松本の方に向けて吹いていたら、私の知らない主人の話などを、お聞かせ下さいませね。じゃあまたあばね。

小林会長を偲んで



東京同窓会・副会長
久保田昇子
(高18回卒)

小林会長の突然の訃報を知らされた時、ショックで、寂しさがこみ上げてきました。



幹事会
に行つても、会長
のお姿が
無い事に
何となく違和感を感じます。

小林会長は前会長が亡くなられた後を引き継ぎ、同窓会の為に尽力されました。

紙面の都合上長くは語れませんが、会長はいつも、「私が会長を引き受ける気持ちになつたのは、貴女に、『今まで何をしたのかではなく、これから何をやるかが大切なんです』と言われたからで、おつしやりながらも、逆に私が県陵レディースの行事の参加やその他いろいろお願いに行くことほとんどお断りになりませんでした。

中島啓江さんのコンサートはわざわざ私と同じ日にして下さって、コンサートの前に、同じ日に行く仲間と昼食を御一緒するのが恒例になっていました。

小林会長は、まさかこんなにあつけなくこの世を去られるとは思つていらつしやらなかつたでしょうね。「久保田さんねエ。私、まさか自分がもうあの世に行かなければいけないなんて、思つてもいなかつたよ」っておつしやつている姿が想像されます。

いっぱいいっぱい感謝の気持ちを込めて、心からご冥福をお祈りいたします。

希望・愛情・健康・幸福



院長 外崎 千枝 (高32回卒)

都営地下鉄新宿線・菊川駅 徒歩1分
〒130-0024 墨田区菊川2-4-2

予約優先 ☎03-3633-6687

県陵野球部記念誌は、6月に発刊します。

県陵野球部を応援します。

松本県ヶ丘高校 野球部 東京OB会

会長 松尾 静二郎 (高9回)

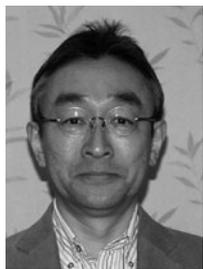
幹事長 千津井 利夫 (高10回)

事務局長 赤羽 正行 (高29回)

連絡先…090-2919-0604



「丘の会」
めざせ！甲子園！！



親交を深めた 中信同窓連懇親旅行

渉外委員長 **山岸 俊一** (高21回卒)

23年度の懇親旅行は、松商学園と松南高校が幹事校となつて、『伊豆半島めぐりの旅』が11月6・7日に行われました。参加校は10校、参加者は57名で、縣陵からは9名が出席いたしました。

旅の初めは、まず、伊豆国一宮であり総社も兼ねる三嶋大社に参拝。源頼朝はこの大社を崇敬し、大変に重んじたとのこと。隣接する楽寿園では『菊祭り』が開催中で、見事な懸がい菊に目を見張りました。沼津

で美味しい魚をいただき、途中立ち寄った中伊豆ワイナリーの新酒ワインは、フルーティで爽やかな口当たりでした。宿泊の修善寺温泉『桂川』では、露天風呂に浸かりながら、開放感溢れる時間を堪能し、夜の懇親会は大いに盛り上がりました。二日目は、河津七滝と城ヶ崎海岸を散策し、伊東の魚市場で干物をお土産にして帰路につきました。中信地区の他校の方々と共に親交を深めた楽しい二日間の旅でした。

縣陵の猫

上野 智 (高58回卒)



縣陵には猫が住み着いており、皆で可愛がつっていた。いつか深志高校に住んでいた犬のエピソードをまとめた映画『さよなら、クロ』のごとお話になればと思っていたのだが、その一端になりそうなエピソードを紹介したい。

ある朝、猫は緑色の足拭きマットの上で奇声を発しながら、のたうちまわっている。毎朝、猫はI先生を見たら駆け寄ってくるのだったが……。先生が「おかしいな」と思いながら抱き上げてみると、毛皮が粘性の液でベタベタ。『太陽にほえろ!』の松田優作バりに「なんじゃこりゃー」と叫んだそうだ。実はその前日、やはり縣陵生で



あった私の弟がネズミ捕りを、1年生のプレハブの教室に仕掛けていた。どうやら猫はそれに引つかかったらしい……。しかし、ネズミ捕りに引つかかるなんて随分、間抜けな猫だ。そして私の弟がI先生に大目玉を食らったのは言うまでも無い。



上/三嶋大社に参拝
右上/中伊豆ワイナリー
右下/河津七滝・伊豆の踊子像を囲んで



縣陵愛さんさん会 (縣陵33回卒同窓会)

The Alumni of the 33rd Graduating class of Matsumoto Agatagaoka High School

昨年は東日本大震災後にもかかわらず、第43回縣陵東京同窓会総会・懇親会に多数の方にご参加いただきましてありがとうございました。またご事情によりご参加いただけなかった方々からも応援いただきましてありがとうございました。実行委員会を高34回卒生に引き継ぎ、今年も素晴らしい総会・懇親会になることと思います。



降旗ハートクリニック
内科・循環器科 降旗 康敬

〒390-0823 長野県松本市中山951-1
TEL (0263) 29-2230 FAX (0263) 29-2332



きもの & Jewelry

店主 松尾純子 (高34回卒)

WING ROAD 2階
〒399-0736 塩尻市大門1-7-1 TEL・FAX 0263 (52) 0052



高30回卒一同



松本県ケ丘高等学校東京同窓会 平成 23 年度決算報告

【一般会計の部】

自 23 年 4 月 1 日 至 24 年 3 月 31 日現在 単位：円

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|------------------|------------|--------------------|
| 適用科目 | 金額 | 適用科目 | 金額 |
| 前年度繰越 | 226,147 | 総会関係支出 | 2,554,693 |
| 本部助成金 | 100,000 | | |
| 総会関係収入 | 2,824,000 | 懇親会費 | 1,786,158 |
| 総会会費 | 2,555,000 | 諸雑費 | 314,049 |
| 寄付金 | 34,000 | 実行委員会費 | 454,486 |
| ご祝儀 | 135,000 | 会報発行費 | 626,448 |
| 雑収入 | 100,000 | 印刷費 | 299,092 |
| 特別会計より繰入 | 1,821,000 | 発送費等 | 256,366 |
| 広告料収入 | 615,000 | 編集会議費 | 70,990 (封筒印刷費) |
| 会費繰入(年) | 406,000 | | |
| 会費繰入(終) | 400,000 | その他支出 | 2,356,372 |
| 義援金 | 400,000 | 幹事会費(4回) | 675,268 |
| 寄付金 | 0 | 委員会費(8回) | 140,637 |
| | | 渉外費 | 231,880 |
| 幹事会費(4回) | 560,000 | 活動助成金 | 170,000 (レディース・東虹) |
| 仮払金戻り | 100,000 | 事務費 | 65,876 |
| | | 通信費 | 24,560 |
| | | HP運営費 | 163,471 |
| | | 諸雑費 | 33,565 (募金箱・パネル) |
| | | 仮払金 | 200,000 |
| | | 義援金 | 600,000 |
| | | 慶弔費 | 51,115 |
| | | | |
| 銀行利子 | 56 | 次年度繰越金 | 93,690 |
| 総合計 | 5,631,203 | 総合計 | 5,631,203 |

平成 23 年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

| | |
|------------|-------------|
| 前年度末残高 | 6,690,051 円 |
| 本年度終身会費受入額 | 400,000 円 |
| 本年度年会費受入額 | 403,000 円 |
| 振込み手数(-) | 39,560 円 |
| 一般会計繰入 | 1,821,000 円 |
| 増加利息 | 995 円 |
| 会費口座預金残 | 6,648,486 円 |

2. 特別基金勘定

| | |
|-----------|-------------|
| りそな銀行定期預金 | 1,631,271 円 |
| 内 当期預金利息 | 392 円 |

平成 23 年度一般会計の部並びに特別会計の部を上記のとおりご報告いたします。

平成 24 年 3 月 31 日

会計幹事 百瀬 興一 小林 哲彦

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成 24 年 4 月 11 日

会計監査 高附 弘幸 太田 均

平成 23 年度次期繰越金内訳

| | |
|-----------|-----------------|
| みずほ銀行普通預金 | 93,690 円 |
| 会計幹事手許現金 | 0 円 |
| 合計 | 93,690 円 |

**会費
振込みの
お願い**

会則第 12 条に基づき平成 24 年度の年会費の徴収を行っています。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ 6 月末日までにお振込下さい。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。年会費 2,000 円 (財政委員会)

平成 23 年度事業報告

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に発生した東日本大震災は地震・津波で約 20,000 名の死者・行方不明者を出し、福島原発事故は永く住みなれた故郷から強制的に避難せざるを得ない大惨事となりました。信州栄村においても 3 名の死者、家屋倒壊等の被害を受け、世界中の人たちから「東北がんばれ」「日本がんばれ」のエールと義援金がたくさん寄せられ「絆」という言葉を深く実感する機会にもなりました。東京同窓会においては、総会・懇親会での義援金、アルペン会、県陵レディースの義援金を含め 800,000 円を東日本大震災支援関係団体に寄付しました。東京同窓会員の「絆」を感じることができ、ご協力、ご支援いただいたことに深く感謝申し上げます。しかし、一年が経過した現在大震災の復旧は途中であり、復興はまだまだこれからです。忘れ去ることなく引続き支援の機会を作っていきます。

以下、一年間の主な活動についてご報告いたします。

第 4 回東京同窓会総会・懇親会は、東日本大震災後の計画停電等の影響で開催を中止する意見も出しましたが、高校卒業 30 年目の母校愛のラリー、総会・懇親会の開催は諸先輩が 45 年以上引き継いできた「縣陵の伝統」であり、今後も継続されるべき行事であり、実行委員の皆さんには萎縮することなくその大役を担って欲しい、その中でこの大震災に対し何が出来るかを考えて欲しいという合同幹事会全員の励ましもあって 6 月 11 日(土) アルカディア市ヶ谷「富士の間」に 276 名が集まり、「Back to the days」(~あの時があったから今がある~今だからこそ、共に生きよう) テーマの下で開催、盛会裡に終了しました。

各委員会活動報告

総務委員会 合同幹事会 4 回開催、代表幹事会 1 回開催、副委員長・代表幹事会 1 回開催

財務委員会 終身会費納入者 20 名、年会費納入者 201 名

渉外委員会 本部同窓会・関西同窓会及び寮友高(松中深志、松商京浜校友高)との交流、中信同窓連・長野県東京

同窓連行事に参加、延参加人数 62 名

県陵レディース 東日本大震災チャリティー昼食会開催 金原(稲葉)美和子さん(高 26 回)、サンキュー手塚さん(高 39 回)の協力を得て 32 名参加、義援金 200,000 円をあしなが育英会レインボーハウス建設資金に寄付

広報委員会 会報「あがた」33 号の発行、HP の改良

総会指導委員会 高 33 回から高 34 回実行委員会への引継、5 年委員会の機能アップ、若年回期生へ同窓会参加アプローチ。

事務局 合同幹事会の案内・出欠確認、住所変更者の名簿修正、新規登録者 10 名東日本大震災義援金募金委員会を立ち上げ、東京同窓会、会員・アルペン会寄付、総会当日募金を合わせ 600,000 円を日本赤十字社に寄付

実行委員会 高 34 回岡田秀春実行委員長を中心に第 45 回総会・懇親会の準備

東京同窓会の運営は年 4 回の合同幹事会を中心に、毎回 40 名を超す幹事の真剣な討議をもって行われますが、その基本となるのは年度会計計画です。各委員会から前年度活動報告を受け、次年度活動計画を提案してもらい、それに伴った予算措置をとり、幹事会の承認の上で同窓会活動が行われます。重要な課題については代表幹事会を開き討議の上同窓会としての意見をまとめます。また、若い世代へのバトンタッチが大事な課題になっています。5 年委員会の活性化を図り、若年回期の同窓会活動参加促進の為に財政基盤を強化することは言うまでもなく、魅力ある組織体制の機能強化へ取り組んでまいります。

同窓生の皆様には、日頃から同窓会活動にご理解を頂き、終身会費、年会費納入、広告掲載等ご協力を頂き心から感謝する次第であります。本年度も引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りたく心よりお願い申し上げます。

事務局長 ^{みさわ まさお} 三澤 政興 (高 18 回卒)

●アルペン会ゴルフコンペ報告●

第66回アルペン会ゴルフコンペより



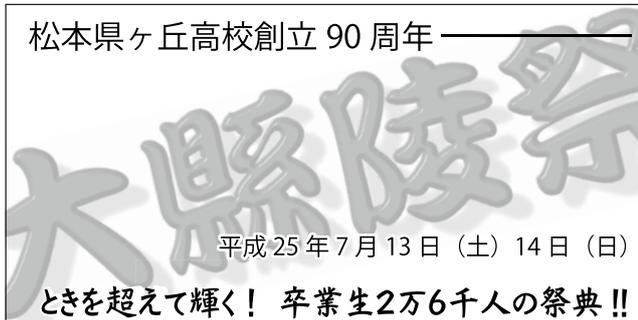
第65回アルペン会ゴルフコンペ
 開催日：平成23年5月12日(木)
 会場：上野原カントリークラブ
 参加数：40名 天候 曇後小雨

| ランク | 氏名 | 卒回 | OUT | IN | グロス | HDCP | ネット |
|-----|-------|-------|-----|----|-----|------|------|
| 優勝 | 中野 康彦 | 高校 16 | 42 | 43 | 85 | 13.2 | 71.8 |
| 準優勝 | 池田 博康 | 高校 5 | 41 | 44 | 89 | 16.8 | 72.2 |
| ベスト | 中沢 正敏 | 高校 9 | 40 | 43 | 83 | 7.2 | 75.8 |

第66回アルペン会ゴルフコンペ
 開催日：平成23年10月13日(木)
 会場：高麗川カントリークラブ
 参加数：38名 天候 曇後晴

| ランク | 氏名 | 卒回 | OUT | IN | グロス | HDCP | ネット |
|-----|-------|-------|-----|----|-----|------|------|
| 優勝 | 山本 靖弘 | 高校 13 | 40 | 45 | 85 | 14.4 | 70.6 |
| 準優勝 | 花岡 俊 | 高校 7 | 41 | 41 | 82 | 10.8 | 71.2 |
| ベスト | 古畑 則男 | 高校 19 | 39 | 40 | 79 | 6.0 | 73.0 |

松本県ヶ丘高校創立 90 周年



平成 25 年 7 月 13 日 (土) 14 日 (日)

ときを超えて輝く！ 卒業生2万6千人の祭典！！

予告

日本全国の、そして全世界で活躍する縣陵生が
 同時に参加できるイベントを企画中！

(詳細は 5 月発行の同窓会報第 30 号にて)

一般社団法人 長野県松本県ヶ丘高等学校同窓会
<http://www.kenryo-dosokai.jp> Tel.0263(32)0666

news inc.
 model and graphic design

代表取締役
有賀 達郎
 (高34回卒)

株式会社 ニューズ 建築模型とCGの製作
 194 0035 東京都町田市忠生 2-31-16 3F
ariga@news-mg.com www.news-mg.com
 TEL 042 789 0291



代表 安藤 久美子(高22回卒)

*信州の味 *山芋料理

Dining Bar
 HANA TEMARI
 (和風料理)

〒160-0004
 新宿区四谷3丁目7番 かつ新ビル2F
 TEL-FAX 03-3355-8710
<http://hanatemari.hp.infoseek.co.jp>



暮らし継がれる家
三井ホーム

ありがとう 長野県内5000棟

長野中央ホーム株式会社

代表取締役社長 百瀬 方康 (高22回卒)
 経営企画本部 上野 一彦 (高22回卒)
 松本市笹部1-3-6 Tel.0263-28-3131

5000